

事業計画名

寒冷地に対応した大型建造物の塗装品質及び
生産性向上のための工場一体型塗装ブースの導入



大型赤外線輻射暖房システム

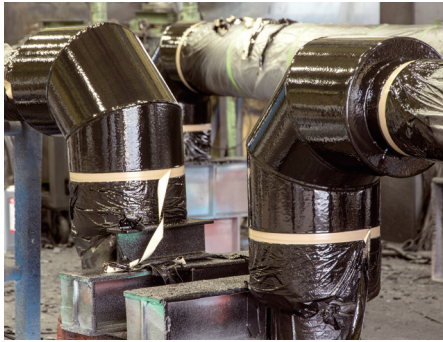


輻射暖房で北海道の 塗装ハンデを克服

水道施設、管路において、主に鋼製ろ過タンクや水管橋などの大型建造物を手がける(株)新興工業。ライフラインを支えるとともに美観も兼ね備えた設備の敷設で、北海道のみならず、新潟、長野、北関東にも実績を持つ。製品の腐食、劣化を防ぎ、長持ちさせるためには塗装防食の工程が物を言う。気温の低い北海道で、同社が誇る品質を維持するためには塗装後に高額な暖房費や長い乾燥時間が必要であったが、本事業で大型遠赤外線輻射暖房システムを導入したことで、生産効率が大幅にアップ。品質の面でもさらなる躍進を果たすことが出来た。現在、この画期的な工場一体型塗装ブースで、独自製品の生産にも力を入れている。

最も厳しい品質基準をクリア

同社が官公庁の仕事を多く請け負っている背景には、厳しい基準をクリアできる品質の高さがある。水道管を例にとると、施工の確かさは大前提として、仕上げの塗装における塗リムラやダストの混入が限りなくゼロに近いことなど。レベルの



高い仕事のため、職人の技術力はもちろん、それを支える工場設備においても、最新鋭の環境で対応している。

販路拡大に向けて営業力アップを図る

いま、新興工業には最強の設備と人がそろっていると、五十嵐社長は胸を張る。今後も、培ってきた技術を受け継ぐ若い人材を育て、よりよい製品を生み出し続け、知名度が低い地域にも積極的な営業展開をはかる考えだ。

最新の水門ゲート設備を開発

河川や用水路の水門設備にも、時代ならではの要望が増えており、農業用水を管理するゲートも、農家の高齢化を背景に、維持管理の手間やコストがかからないものが求められている。同社では、自動でゴミを取る、自動で水量の調整ができるなどの高性能ゲートの開発に取り組んでいる。



代表取締役

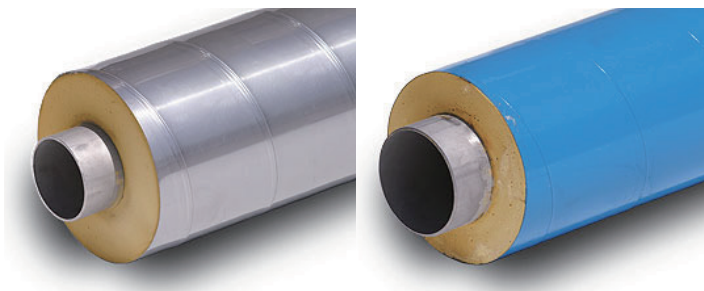
五十嵐 章

いまの時代は「メンテナンスフリー」がキーワードになっています。設備も、壊れないことはもちろん、メンテナンスをなるべくしなくてもよい、長持ちするものが求められるんです。経費の削減と、少子高齢化による人手不足の時代への布石ということです。そういう意味でも、今後いかに高品質なものを提供できるかが勝負になるでしょう。

TOPIX

寿命は半世紀？“保温二重管”

同社が製作を手がける水道管に、“保温二重管”がある。外層がアルミになっており、軽くて扱いやすいうえ、防錆の面でもすぐれているのが特徴。今後は営業を強化し、全国展開も図っていきたいと考えている。



保温二重管

COMPANY DATA

株式会社新興工業

TEL.011-664-5001 FAX.011-665-5002

<http://shinkou-hp.com/>

住 所 北海道札幌市西区発寒十四条三丁目1番1号
 代表者名 五十嵐 章
 資 本 金 4,000万円
 設 立 平成6年2月
 事業内容 保温二重管、水管橋、ゲート